第４回 日本模型ヨット協会 ＤＦ９５選手権大会 参戦記

J827　山脇修

２０２５年３月８日（土）～３月９日（日）の２日間、第４回 ＤＦ９５選手権大会が竜洋Ｂ&G 海洋センターしおさい湖で開催されました。出場選手は地域別に関東１１名、中部９名、西日本２名の計２２名の参加です。ルールは２０２５～２０２８セーリング競技規則及び付則Ｅ、帆走指示書、レース公示に基づき HMS2022 にて実施されました。

・はじめに

ＤＦ９５クラスがワンデザインとして JMYA 本部主催レースとなって４回目となりました。第１回から参戦しているものの永井さんに過去３連覇されています。若手の八木さんもメキメキ実力をつけてきており厳しいレースが予想されました。このＤＦ９５はセール以外のパーツはオリジナルの仕様が求められており、艇間の性能差は無いといって過言ではありません。箱出しでレースに参戦出来るため初心者からベテランまで誰でもが同じ条件でレースが出来る敷居の低いクラスでありますが、同時にレース結果を艇のせいに出来ないシビアなクラスとも云えます。

・コース図

竜洋Ｂ＆G海洋センターしおさい湖は、東西４００m、南北２５０mの汽水湖です。風向きによってコースを変更する事が出来て、おおよそ２００mのコース設定が可能です。

１日目　①北東　Ａリグ

２日目　②北北西　Ａリグ　⇒　③西南西　Ａリグ

のようなコースで実施されました。

・レース前準備

最初に実施したのは全リグのシートメンテナンス、シートの取り回しがクラスルールどおりとなっているか、ほつれたシートはないか、ピポットに絡むようなことはないか等を確認しました。リグはＡリグをメインに基本的なトリムに調整しておいて、当日の風速の変化にはメイン及びジブのツイスト調整で対応することとしました。特に「フリーでのチューニング」を入念に行いました。

機材面ではウインチサーボ、ラダーサーボ、サバイバルシートのテルテール、風見（微風の振れ回る風用）の可動を確認しました。

・セッティング

今回、大会に参加するにあたりArig セッテイング（基本セット） は以下のとおりとしました。

マストレーキ	１１３８
メインフット	３０
メインブーム開き（中心線よりブームエンド）	３５～４０
メインキャンバー	６０～６５
ジブフット	２５
ジブブーム開き（マスト中心からジブブーム）	５０～６０
ジブキャンバー	６０～７０

以上のセットは今回の条件下で行ったチューニングデータです。風の強弱によりメインブーム、ジブブーム、メインキャンバーを微妙に変更しています。

・レース展開

初日、６レース、２日目も６レースの合計１２レース（捨てレース２）を実施できました。
初日終了時点で、1位２０点_山脇、2位２２点_永井さん、3位２３点_八木さんとカットレースを考慮しなければTOPで折り返すことが出来ました。やはり３連覇の永井さんはミスのない堅実な走りです。また、八木さんにおいては爆発力のあるレースを展開します。

２日目の最初のレースで操船ミスにより７点、その後も３レースで永井さんに先着されＴＯＰ逆転・・・・あ～これは優勝無理かも、と思いましたが、何とか最終レースで１着を確保し、ひょっとしたらと思いつつ結果を待ちました。

結果は、1位３２点、2位３３点、3位３４点の１位から３位までがわずか２点差。シビアなレースを制して辛くも優勝できました。結果、上位３人の実力差はなく最終レースまでもつれ込み最終レースでの結果で順位が決まったようなものでした。

最後になりましたが、大会を運営していただいた中部支部の皆様には心から御礼を申し上げます。また、撮影、成績表投入など関東支部の皆様、ＪＳＡＦの落合さん、杉浦夫妻にはサポートいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。